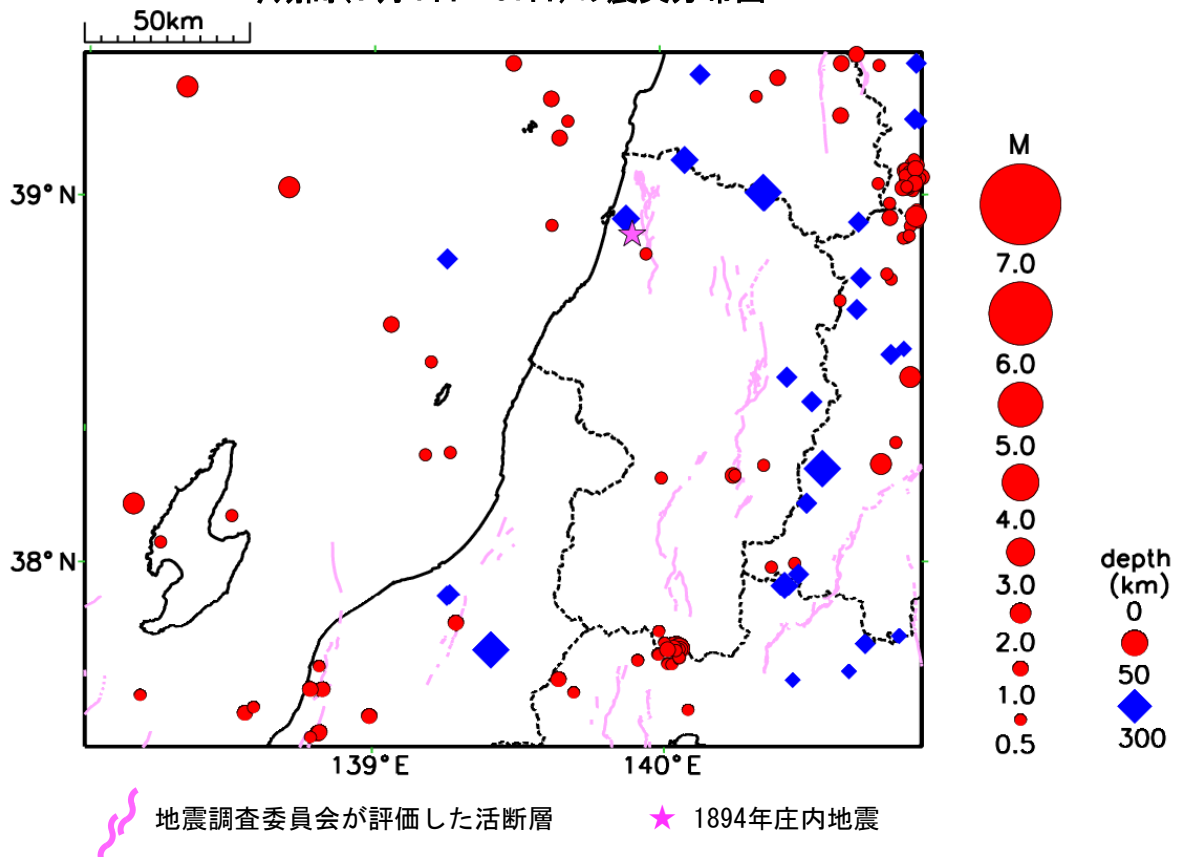


山形県月間地震概況（2026年7月）

山形地方気象台

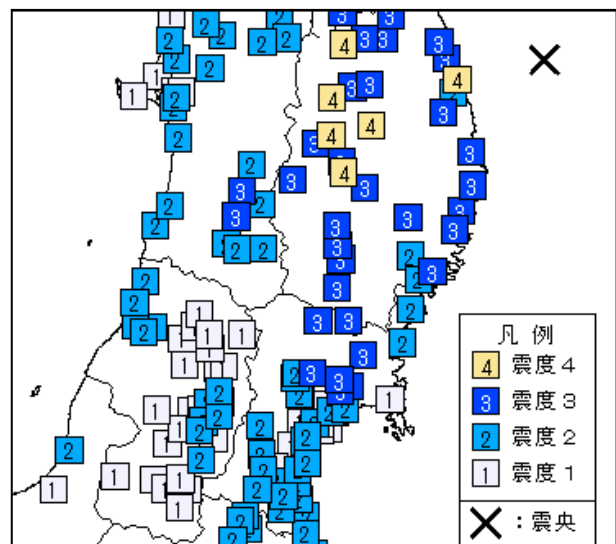
今期間（7月1日～31日）の震央分布図



【概況】

期間中に県内で震度1以上を観測した地震は2回（前期間5回）であった。このうち、県内で震度3以上を観測した地震は0回（前期間1回）であった。

1日21時08分に岩手県沖の深さ40kmでM6.1の地震が発生し、岩手県盛岡市や八幡平市などで震度4を観測したほか、北海道、東北地方、新潟県で震度3～1を観測した。県内ではほぼ全域で震度2～1を観測した。（右図）。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。



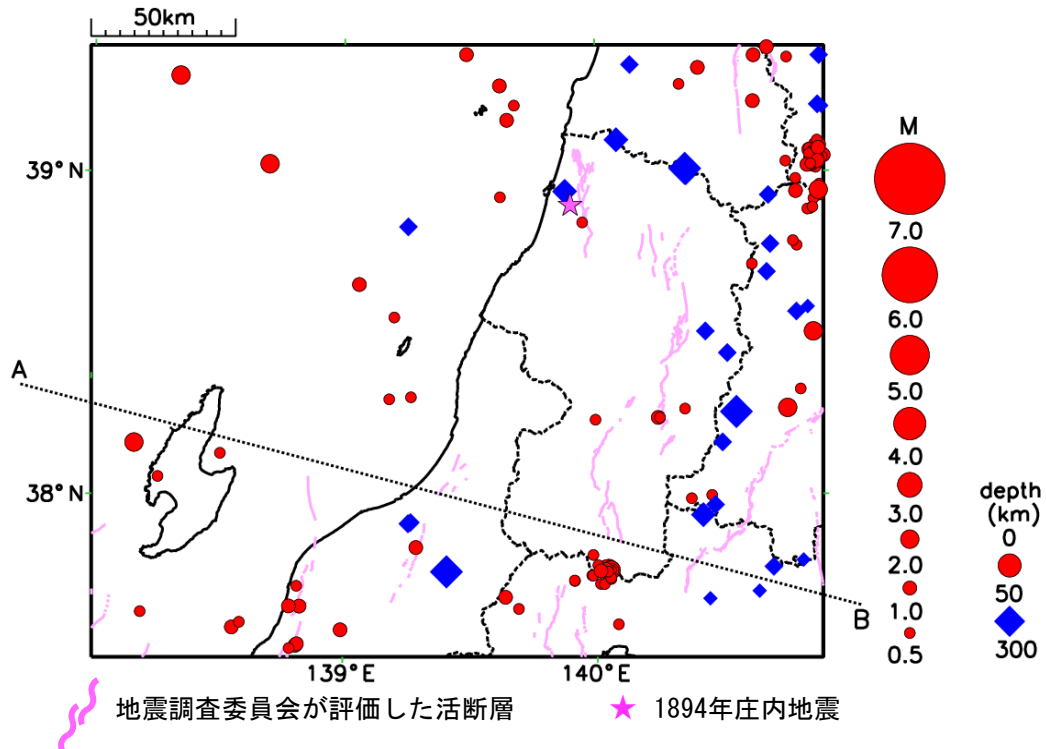
1日21時08分に岩手県沖で発生した地震(M6.1)の震央(×)と市町村別震度

※本資料では、地震の規模を示すマグニチュードを「M」として表記している。

※山形県の各地の震度の詳細は、別紙「山形県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。なお、震源要素等は、再調査により変更することがある。

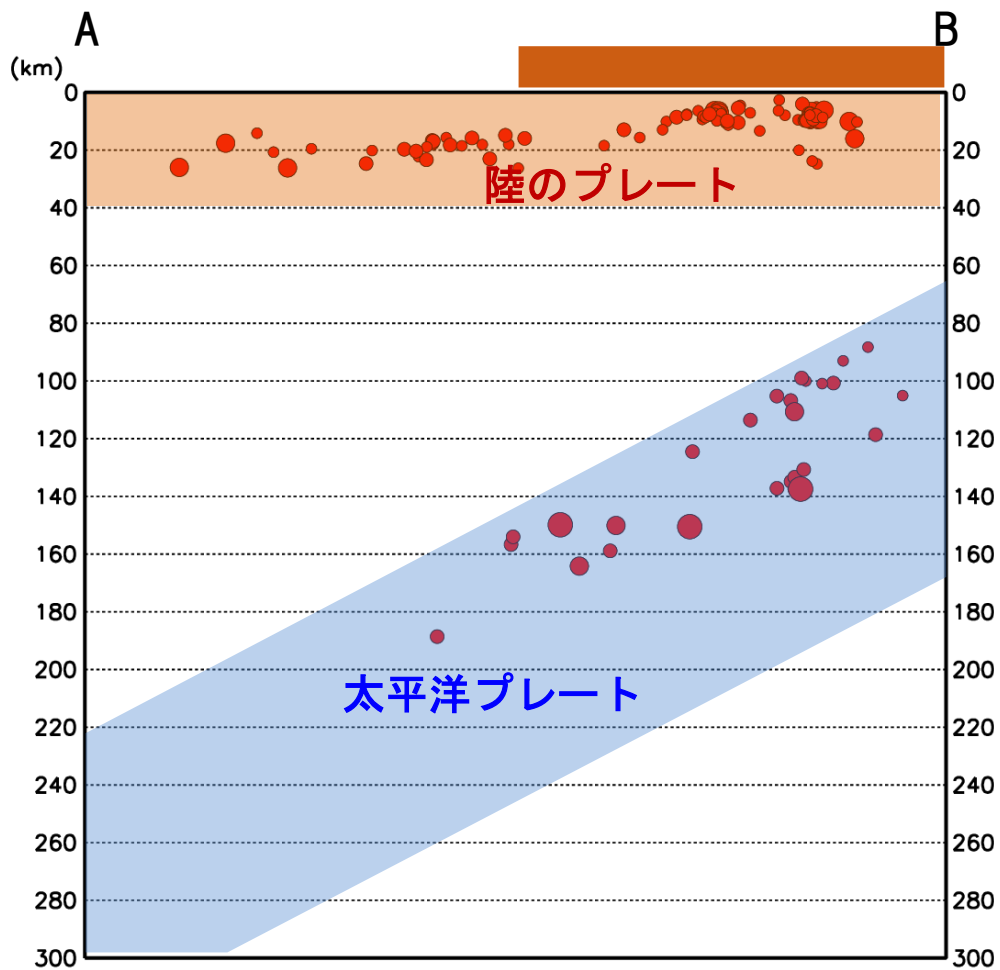
【震央分布図】

震央分布図 ($M \geq 0.5$ 、深さ0~300km)



【断面図】

断面図は震央分布図内の震源を直線A-B (太平洋プレートの沈み込む方向) に投影したものである。



※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※ は陸地の大まかな位置を示している。

※陸地から離れた海域ほど、震源の深さ精度は良くない。なお、沖合いの地殻内で発生する地震の震源は、実際はより浅いものが多いと考えられる。

山形県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2026年 7 月 1 日～2026年 7 月31日

発 震 時	震 央 地 名	北 緯	東 経	深 さ	規 模
各地の震度					
2026年07月01日21時08分	岩手県沖	40° 05.7' N	142° 27.1' E	40km	M6.1
山形県	震度 2	：鶴岡市藤島＊ 酒田市亀ヶ崎 酒田市飛鳥＊ 酒田市山田＊ 三川町横山＊ 遊佐町遊佐 遊佐町舞鶴＊ 庄内町狩川＊ 庄内町余目＊ 上山市河崎＊ 村山市中央＊ 天童市老野森＊ 山辺町緑ヶ丘＊ 中山町長崎＊ 河北町役場＊			
	震度 1	：鶴岡市馬場町 鶴岡市温海川 鶴岡市道田町＊ 鶴岡市羽黒町＊ 酒田市宮野浦＊ 酒田市観音寺＊ 酒田市本町＊ 遊佐町小原田 新庄市東谷地田町 新庄市堀端町＊ 新庄市住吉町＊ 最上町向町＊ 舟形町舟形＊ 真室川町新町＊ 大蔵村肘折＊ 大蔵村清水＊ 鮭川村佐渡＊ 戸沢村古口＊ 山形市緑町 山形市薬師町＊ 山形市旅籠町＊ 寒河江市西根＊ 寒河江市中央＊ 東根市中央＊ 河北町西里 西川町大井沢＊ 山形朝日町宮宿＊ 大江町左沢＊ 尾花沢市若葉町＊ 大石田町緑町＊ 米沢市アルカディア 米沢市林泉寺＊ 南陽市三間通＊ 高畠町高畠＊ 山形川西町上小松＊ 山形小国町小国小坂町＊ 白鷹町黒鴨 白鷹町荒砥＊ 飯豊町椿＊			
2026年07月03日10時44分	宮城県沖	38° 45.0' N	142° 19.5' E	40km	M5.0
山形県	震度 1	：中山町長崎＊ 尾花沢市若葉町＊			

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。
各地の震度は山形県のみを示し、＊は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

防災の日を考える 山形県の活断層と地震への備え

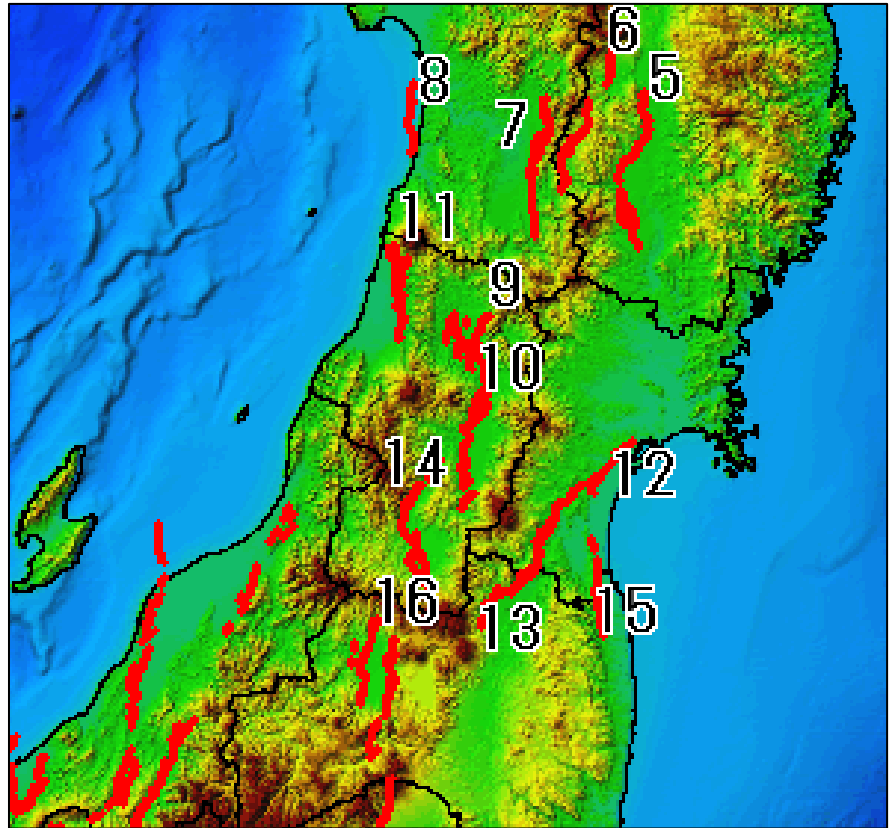
内陸の活断層による地震

7月28日に発生した「令和8年熊本地震」では、平成28年に続き内陸の活断層の活動によって大きな被害が発生しました。

過去に繰り返し地震を起こし、将来も地震を起こすと考えられている断層を活断層と言い、山形県にも複数の活断層が存在しています。これらの活断層で地震が発生した場合、県内で強い揺れとなるおそれがあります。

内陸の活断層による地震では、発生する場所が浅く、人が住む地域に近いので、建物やライフライン等に甚大な被害が発生することがあります。

また、震源に近い地域では緊急地震速報が間に合わないこともあります。



9：新庄盆地断層帯 10：山形盆地断層帯
11：庄内平野東縁断層帯 14：長井盆地西縁断層帯

出典：地震調査研究推進本部 東北地方の地震活動の特徴 活断層 の図を加工して作成

防災の日とは

9月1日は、防災の日です。1923年9月1日に発生した関東大震災を教訓として定められました。防災の日を契機に、自宅や職場の地震対策を見直し、地震に備えましょう。

地震への備え

- ☑ 家具を固定する
- ☑ 飲料水・食料を備蓄する
- ☑ 避難場所を確認する
- ☑ 自分の行動範囲の危険な場所を把握する
- ☑ 家族との連絡方法を確認する
- ☑ スマートフォンで緊急地震速報を受け取れるようにする。
- ☑ 建物の耐震補強を行う。

